

● 予算委員会

令和5年度勝山市一般会計補正予算（第3号）と専決処分承認を求め議案3件の審査を行い、全て可決および承認しました。

審査項目の中で、先に常任委員会で説明すべき案件があり、両常任委員会の重要性を鑑み、臨時で各委員会を開いて審議した後、本委員会で各議案を慎重審査しました。

◆ どうなるゼロカーボンシティ計画

勝山市内におけるCO2排出量から、森林などにCO2が吸収される量を差し引いて市内の相対的CO2排出量をゼロにする計画について説明があり、議論されました。

委員▼勝山市内のCO2排出量が減少していると説明があったが、その理由は産業等の衰退が原因であった。方向性として、勝山市民や市内業者に無理がかかってしまう計画では本末転倒である。優先すべきは計画ではなく市民でなくてはならない。

理事者▼委員の言われるとおり、当計画を進める上で大事なものは市民の生活であり、無理がないよう配慮して進めていきたい。

委員▼今後、計画に問題があれば、行政は見直しを考えると考えよいか。

理事者▼国の情勢も変化し、研究も進む中、世代や状況に応じた変更は必要なので、研究していきたい。

◆ 畦畔用防草シート普及推進事業補助金

農地活用支援事業費

※ 予算額 450万円

農業者の草刈りにかかる労力と経費を削減、畦畔の防草などを目的とした農業者支援として企画された事業補助金です。

当初、議会への報告の際には、多くの委員から市の農業事情に合わせた補助金額の増額などを求める意見が多くあったことから、理事者は、今定例会で事業の要綱を変更して補助金の増額を示しました。

市の素早く柔軟な対応に、多くの委員から賞賛の声があがりました。

● 議会改革特別委員会

課題整理として、これまでの議論の中で気になっていたり、点を改めて確認しました。

委員からは、ペーパーレス会議を目指して導入したタブレットについて、さらに使いやすくなるような工夫が必要などの意見がありました。

一般質問 議：議員 / 理：理事者

○ 勝山市の少子化対応について
○ 幼稚園、保育園の継続について

その他の質問
・観光客への対応について
・生成AIの利用について



帰山 寿憲 議員
市政会

議 婚姻率、合計結婚出生率、合計特殊出生率から見る、課題と問題点に対する市の認識および婚姻率の向上等のために新たな対応を行う考えはないか。

理 各統計によると、全国平均と比べて勝山市の婚姻率や出生率は高いが、人口を維持するラインには届いていない。

少子化対策には、若者が結婚できるサポートや未婚者への結婚意欲を高める支援が最も重要で、子どもを望む夫婦が子どもを産めるための支援も必要と考える。

仕事と子育てを両立できる環境づくり、魅力ある教育環境の充実、子育てへの経済的支援などの施策も総合的に進めていきたい。

結婚相談等の新たな対応については、今年度の新規施策として单身者の親御さんに向けた婚活講習会の開催を予定している。また、従来の結婚相談員制度の充実に向けた検討や県のマッチングアプリ登録を推奨し、民間活力を活かした新たな施策も検討していく。

議 幼稚園の廃園時期を、在園児が卒園するまで等再考の余地はないか。

理 公立の幼稚園、保育園の廃園については、あり方検討委員会の答申を踏まえ、それぞれの廃園時期について方針を定めたが、3月定例会に提出された「公立幼稚園および公立保育園の存続を求める陳情書」が総務文教厚生委員会が趣旨採択となったことを真摯に受け止めている。

公立保育園は今春の入園者がなく、また、すでに転園している方もいる。今年度に入ってから、在園児の保護者から私立保育園の見学要望もあり、見学に関する希望や気がかりな点等をお聞きするなど転園の準備を進めている。

面談を通して、ほぼ全ての方から理解を得られていると判断しており、今後も保護者や園児の気持ちに寄り添いながらスムーズな転園ができるようサポートしていく。公立幼稚園については、この春に6人の入園があったことも踏まえ、廃園の時期など再度検討したいと考えている。